

自治 温故創新

考える  
思いやる  
やりぬく

# まごころ

学校便り 12月号  
令和4年12月23日  
西東京市立田無第三中学校

## 二学期終了

東山 信彦



本日、二学期が終了となります。残暑厳しい中での始業式から、はや四か月。教職員一同、温かく活気溢れる生徒とともに、一気に駆け抜けてきました。

ここ数年、コロナ対応の下、ままならぬ日々には悔しい思いを残して、学期末を迎えることが続いていましたが、今学期は、三年生の京都奈良修学旅行を皮切りに、一年生川越校外学習、文華女子高等学校をお借りしての全校合唱コンクール、そして、来賓をお迎えしての開校60周年記念式典と、計画した行事を、全て大成功で終わることができました。「この仲間と充実した三中生活を送りたい」と意欲的に、各行事に取り組んだ生徒たちの熱意や、「三中生のために」と、各行事を成功させるべく、綿密な計画、周到な準備を重ねてきた教職員の熱意が、この充実の二学期を生み出しました。

「熱意」といえば、昨年12月号の「まごころ」で、脳科学者池谷裕二氏の言葉を借りて、「熱意」とは「わくわくする力」だと伝えました。そして、「熱意が起きるスイッチ」として、「身体」の動きについて触れました。例として、「笑うと楽しくなる」という現象をあげ、活動がスイッチとなって、「わくわくする」心の動きが生み出されることについて、説明しました。

三中生一人一人に個性があります。活動的な人もいれば、そうでない人もいます。そして、同じ人の中にも、「活動的な自分」や「消極的な自分」が、同居しています。そんな一人一人の生徒が、三中に集い生活を共にし、活動を体験していきます。一人では二の足を踏むようなことでも、長年多くの生徒・教職員によって磨かれ改善されてきた、三中伝統の生活の流れに沿って、実際に身体を動かし活動することによって、「熱意のスイッチ」が入っていきます。そして、一人ではたどり着けなかったであろう、「わくわく」感や達成感を味わうことができます。

それは、各行事の取り組みだけでなく各教科の授業の中での活動でも同じです。期末試験後、各教員が、一昨年以来取り組んできた「主体的に生徒学習できる生徒の育成～授業における集団思考のデザイン～」(R2・3西東京市研究指定校として昨年発表)の研究授業を、実施しています。その授業で、積極的に意見交換をして、集団知を練り、発表する生徒の姿を見るにつけ、そう感じるのです。おそらく、部活動や委員会活動でも同様なことが言えるのではないのでしょうか。



そして、そのような、二学期の生徒の「熱意」の成果を見るたびに、オンライン学習だけでは代替えできぬ、実の場としての学校生活の価値を、改めて実感することになります。

しかし、今からの約二週間は、この「学校」の活動が、ほとんどお休みとなります。せつかくのスイッチが、「OFF」にな



りがちです。それを防ぐには、一日一回は、外に出かけることをお勧めします。教育学博士諸富祥彦氏によると、三日間ほど家に閉じこもると、本人が気づかないうちに、身体の方が「家にこもっていたい」というような感覚になっていくのだそうです。どこでも構わないので、とにかく外に出てみるのは、その身体感覚の変化を防ぐ効果があるそうです。せつかくのお正月ですから、のんびりするのもいいでしょう。要は、いったん「OFF」になったとしても、三学期「スイッチON」にできる準備だけはしておきましょうということです。三学期も、「温故創新」「温かく活気溢れる三中」を創っていきます。それまでは、しばしの休み、二学期終了です。

## 三中生の活躍

### 六十周年記念式典生徒代表挨拶

生徒代表 Y. M

空は深く澄み渡り、凜とした空気に秋の深まりを感じる季節となりました。この良き日に我が田無第三中学校も六十周年という記念すべき時を迎えることができました。そんな佳節に私たちが我が校の生徒としていられること、そして今この場に出席し、こうして祝辞を述べられることを誇りに思います。同時に六十年というこの長い歳月に我が校の伝統の重さをも感じることができます。

この頃、この田無三中でも新型コロナウイルスの影響やそれに伴う社会全体の変動に合わせて、オンライン・ハイブリッド授業、タブレットの活用・デジタル化等、また一風変わってまいりました。しかし僕はこれこそが、この新しさこそが伝統を織り出すうえで最も大切なことだと思います。過去のことを引き継ぐだけでは何にもならないと。過去のことを知り、そして引き継ぎそこから新しい産物を作り出す。そしてそれがまた次世代の糧となる。これが、これこそが伝統というものなのだと思います。旧生徒会ではスローガンに「新しい時代」を掲げ、新生徒会でも「NewForm～新しい形～」を掲げています。我が校は現状維持などなく常に新しさを求めて前進していくような学校です。

そんな伝統を我々の知りえないような代から一つ一つ六十年という長きに渡って紡がれてきた、美しきタペストリーの中に、今いることを改めて誇りに思います。同時にこの伝統を途切れさせてはならないと、ここで受け取ったからには、それをまた紡ぐ責任があると思います。伝統は過去の資源であり未来の宝物です。新しさを求める変化とは伝統を変えるものではなく、むしろそれを強め、より良質にしていくものです。更に良質な資源を、責任をもってこの代でもまた紡ぎ、遙か先まで見据えても、なおその美を絶やさないものを残せたらと思います。

卒業まで日がない我々三学年、明日には明日の自分が明日の伝統を刻みます。明日卒業してもいいと思える今日をいくつ創れるか。一日一日を三中の長い歴史、伝統の中にしかと刻めるようにすごしてまいります。

改めまして、このたびこの田無第三中学校の開校六十周年記念式典に足を運んで頂いた皆様ありがとうございます。私たちは本日、六十周年記念誌が配布されました。そこには、今の三中が綴られています。しかし、三中の物語はここで終わりではありません。未来に向け、これからも三中生として堂々と、そしてこの先三中の門をくぐるであろう未来の後輩たちにも誇れる伝統の一ページを刻み続けてまいります。その誓いとともには挨拶の詞とさせていただきます。

### ○東京都中学校読書感想文コンクール

都優秀賞(ベスト8に相当)

『「高知能」は幸せか』『アルジャーノンに花束を』

T. S

○高円宮杯日本武道館書写書道大覧覧会（毛筆の部）

大会奨励賞 M. M K. M S. K K. I  
K. H A. I

○「筆の都」広島県熊野町全国書画覧覧会運営委員会

金賞 M. M K. H K. I M. M K. I  
I. N S. Y S. K

○西東京市めぐみちゃんメニュー事業「小中学生メニュー提案」採用

もりもり野菜コロッケ I. S  
コーンの入ったポテサラサンドウィッチ T. Y  
梨とぶどうのまるごとスムージー A. M  
カラフル麻婆茄子 M. M  
西東京フルーツタルト I. S  
夏野菜たっぷり冷やしうどん S. R

○薬物乱用防止標語

優良賞 R. S 「薬物乱用 しっかり学び やらない絶対」

○税についての作文・標語



税の作文 西東京市租税教育推進協議会会長賞  
T. T 「みんな安心して学ぶために」  
税の標語 法人会会長賞  
U. A 「消費税 みんなの未来のための税  
仕組みを知って 正しく納税」



○「わくわく子ども縁日」感謝状

I. K N. N K. Y N. T I. T O. M  
K. I K. Y T. N M. M M. S I. N  
S. Y K. M M. M K. K H. K T. S

お知らせ

- 1 冬休み期間中は12月29日より1月3日まで、一斉閉庁日となり、警備員も含めて職員は不在となります。コロナウイルス感染症にかかった場合や、濃厚接触者になった場合は、始業式後に、お知らせください。ただし、陽性と判明した2日前までに部活動や面談等で登校していた場合は、始業式を待たずに学校へご連絡ください。
- 2 一斉閉庁日以外は、日直の先生が在籍していますので（8：15～16：45）、何かの時は学校にご連絡ください。また、「冬休みのしおり」にありますとおり、さまざまな相談・連絡場所が市内・市外にありますので、そちらに連絡することもできます。